



## 第9回 かながわ教育学講座

### \*\*\*\*\* 模擬授業「授業づくりを学ぶ②」 \*\*\*\*\*

<ねらい>：模擬授業とグループ協議を通して、自分の授業や指導案における改善点を考える。

#### 授業発表者による説明

- ・扱う単元や対象学年、本時の授業で「子どもに身に付けさせたい力」は何か、工夫した点を述べる。



#### 模擬授業

- ・児童・生徒が主体的に学ぼうとしたり、学習の見通しが持てたりするような導入を行う。
- ・授業発表者以外の受講者は、児童・生徒役をやる。



#### 意見交換

- ・発言の機会は平等に、かつ積極的に行う。
- ・指導案の改善に向けた建設的な意見を心掛ける。

令和2年11月29日(日)、総合教育センター善行庁舎において、第9回かながわ教育学講座が開催されました。

本日のテーマは「授業づくりを学ぶ②」で、受講者は校種・教科別のグループに分かれて、自ら作成した学習指導案を基に模擬授業を行いました。すでに教育実習を経験している受講者や現在臨時的任用職員、非常勤講師として働いている受講者がいる一方、授業や指導案作成は初めてという方も多く見られました。自作の教材を使ったり、児童・生徒に分かりやすい話し方をしたりと、各自が目指す理想の授業に向けてさまざまな工夫を行っていました。また、児童・生徒役の受講者も授業者の工夫に応じて一緒に授業を作っていく様子が見られました。模擬授業後は、児童・生徒役の受講者がそれぞれの気付いたことを伝え、より良い授業作りを目指してたくさんの意見が交わされました。最後にはグループ担当者からの指導・助言が行われ、真剣に耳を傾ける姿が見られました。1月はいよいよ授業発表です。今回の経験を基にして、さらに良い授業を作っていきましょう。

